

総評

質・量ともに迫力のある作品が目立ちました。身の回りの小さなことを、学んだ知識や経験を活かして研究することで、独自の結論に達した作品が、入賞を果たしています。

理科の研究は、調べ学習だけでも観察だけでも十分です。手と足、頭の両方をバランスよく使いましょう。さらに、データや実験の結果はいつ・どこで行っても同じなのか、反復して確かめることが大切です。また、インターネットの情報も、他の資料等でさらに確認してから利用しましょう。

中央出版株式会社 社長賞

茅ヶ崎の自然の お宝パート3

神奈川県 茅ヶ崎市立鶴嶺中学校 3年 高橋七生

自然と人間が共存できる場として里山が注目されている今日、その点に目をつけたことがまず評価されました。茅ヶ崎の昔ながらの自然(里山)を知り、2000年8月から里山の調査を始め、この「パート3」では今まで訪れたことのなかった「行谷・高蔵寺」周辺を調査しています。

里山の地形、植物の分布と種類(樹木類・草類)動物の分布と種類(陸上・水生生物)を丁寧に観察し、記録しています。また、これまでに行った里山との比較も、周辺の様子や地形、水、



全国中学校理科教育研究会 会長賞

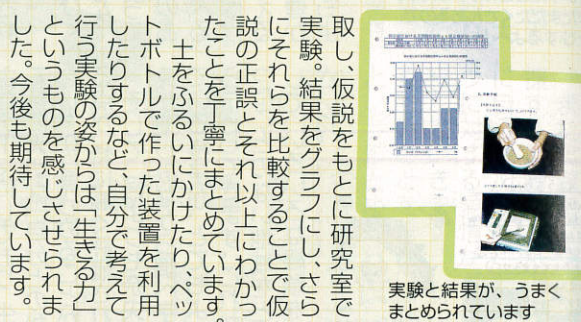
自然界における土壌が果たす役割に関する基礎的研究

東京都 明治大学付属明治中学校 1年 伊藤泰浩

酸性雨という今日の課題に真正面から取り組んだ超大作です。240ページにわたるデータと実験は見るものを圧倒させるものがありました。

通常有害であるという研究にとどまっている酸性雨についての研究ですが、この作品では酸性雨の作用を土壌が緩和することを実験を通じて研究しています。

実際に現地に行つて土を採取し、仮説をもとに研究室で実験。結果をグラフにし、さらにそれらを比較することで仮説の正誤とそれ以上にわかつたことを丁寧にまとめています。



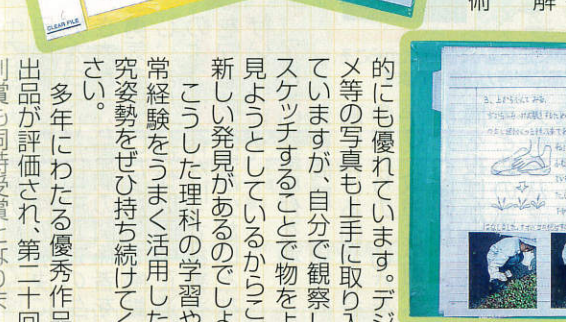
文部科学大臣奨励賞 第20回特別賞

オオバコの観察

東京都 白百合学園小学校 5年 阿部彩織

オオバコは暗くて人が通る所でも点々と生えている。何でだろう。この二つの疑問から、オオバコの大研究が始まります。オオバコの生態を調べたり、実際に栽培をしたりした末、オオバコの種には水にぬれるとネバネバする性質がある。だから、くつの裏などについて運ばれ、点々と生えているというところを解明できたのです。

また、正確なスケッチは、美術的に優れています。デジタルカメラ等の写真も上手に取り入れていますが、自分で観察してスケッチすることで物をよく見ようとしているからで、新しい発見があるのです。こうした理科の学習や日常経験をうまく活用した研究姿勢をぜひ持ち続けてください。



神戸新聞社賞

塩の結晶を作る

兵庫県 須磨浦小学校 3年 奥住絵梨

- ### 優秀賞
- かぶと虫のかんざつ日記の本 第3巻
大阪府 堺市立浜寺石津小学校 3年 佐倉和喜
 - うーじ
沖縄県 浦添市立宮城小学校 3年 城間盛登
 - 地球を守れ! ケナフ
岐阜県 瑞浪市立釜戸小学校 6年 水野裕康
 - 結晶作りと塩の山登り
京都府 京都市立西ノ京中学校 3年 古市 恵

- ### 海外在住者賞
- 紙おむつはなぜ水をすうのか?
アメリカ サンフランシスコ 日本語補習校 小学3年 古川 仁

全国小学校理科研究協議会 会長賞

両生類の研究

神奈川県 茅ヶ崎市立松林小学校 6年 新倉麻衣

愛情をもって楽しんで取り組んでいる飼育活動が、丁寧な観察記録に結びついています。2時間かけて餌付けをしている姿勢やトウキョウサンショウウオをここまで育てたことも立派です。研究途上で科学館の専門家の指導を受けるといった積極的な行動もついています。作品からは生き物のどこをどのように見たり、



日本初等理科教育研究会 理事長賞

オニヤンマの研究

東京都 白百合学園小学校 4年 堀江琴音

オニヤンマの体の細かいところについて、くわしく記録・観察しています。自分で採集してつくった四つのトンボの標本は、どれも丁寧にできています。特に「オニヤンマはほかのヤンマ科のトンボに比べて、かむ力が強いことから、歯がとがっていて口をたてにも横にも開けることができる」という



子どもの文化・教育研究所 理事長賞

ダンゴ虫の秘密

岐阜県 岐阜大学教育学部附属小学校 6年 佐治木大知

ダンゴムシの好む土のしめり具合や、光の量、色など、自分では不思議だ、知りたいと思ったダンゴムシの習性について調査しています。しめり気の実験では水がもれないように牛乳パックを使ったり、光の量の実験では一回目で条件が揃ってきいていなかったため別の方法でも二度実験を行ったりと、工夫を凝らしています。牛乳パックなどの身近にあるものを使って実験の

